

令和2年度 カーサ マリモ 事業報告

1 総 括

事業所安定的な運営のため取り組んでいました共同生活援助と単独型短期入所の事業変更が11月に認められました。共同生活援助はユニット増・定員増で7名から13名となり、単独型短期入所は廃止し、空床・併設型短期入所2床となりました。11月から新規入居者の受け入れを開始し、令和3年1月末に13名満床となり、次年度以降は収入が大きく改善されます。

コロナウイルス感染症の影響で、入居者様の通所先の事業縮小等がありましたが、移動支援を利用した外出は、3密を避ける事を御利用者様にご注意いただいた上で維持いたしました。

11月以降は新入居者受入とコロナウイルスの影響による職員配置が厳しいことが重なり、職員会議やミーティング等の会議が開催できない状態となってしまいましたが、リーダーを中心とした少人数でのミーティングにより情報共有を行っています。

2 中長期計画の取組結果

清瀬療護園との医療連携についてニーズと具体化の検討は、事業変更業務等が先行したために取り組むことができませんでした。また、清瀬喜望園を引き継ぐ業務が先行されたために居宅介護支援事業と移動支援事業の新しい取り組みの検討ができませんでした。

3 重点目標の取り組みと来期の課題

1) ケアの質の向上

【目標】利用者個々の状態や思いにあった生活を支援するために個別支援計画に基づき他事業所との連携や職種内の協業を強化します。

【取り組み】・利用者の日中支援については相談支援員と情報を共有しながら他事業所や実施機関との連携を強化し、清瀬療護園の協力をいただきながら取り組みました。

・短期入所利用者の日中支援要望の増加に対応するために清瀬療護園生活介護の協力をいただきながら取り組みました。

【取り組みの結果】2020年度から支援員による各利用者様のアセスメントシート作成を実施し、ニーズの把握に努めました。また、清瀬療護園生活介護や清瀬療護園相談支援センターと連携し、利用者様の日中支援に対応いたしました。

2) 医療ニーズへの対応

【目標】グループホーム入居者の高齢化によるニーズの変化に対応するため喀痰吸引研修修了者を増やします。

【取り組み】・不特定の喀痰吸引研修受講条件である事業所登録がグループホーム後利用者様に実際に対象となる御利用者様が居なければできないので受講できませんでした。

・清瀬療護園診療所との連携体制の検討ができませんでした。

【取り組みの結果】訪問診療と訪問看護事業所との連携を相談支援事業所の協力を仰ぎながら、グループホームでの御利用者様の体調不良時の対応と健康管理の支援内容を検討し、個別支援計画に反映することに重点を置くことにシフト致します。

3) 財政健全化

【目標】事業変更（短期入所の定員を7名から1名に変更と共同生活援助のユニット増変更と定員を7名から13名への変更）を行う。

【取り組み】単独型短期入所7床から空床・併設型短期入所2床へ定員変更と共同生活援助のユニット増と定員7床から13床への変更を行いました。

【取り組みの結果】令和3年1月末に共同生活援助13床満床となりました。短期入所は単独型短期入所7床から空床・併設型短期入所2床となりました。

4 申出のあった苦情の対応

申立月	苦情の内容	対応と結果
	無し	

5 発生した事故の内容

種別	件数	摘 要
重大事故	2件	①利用者本人管理の薬を2重与薬してしまった。御利用者様と支援員が確認できるように居室のホワイトボードに何をいつ服薬したかを確認できるように記載するようにしました。 ②服薬カレンダーへの薬セット時に新しく処方された薬をセットしていなかった為、怠薬してしまった。夜勤者2名によるセット時の複数チェックを行うようにしました。

6 職員体制（令和3年3月31日）

職種	所長	サビ管	リーダー	生活支援員	合計
職員数	0.5	0.5	2	9	12
内常勤	0.5	0.5	2	7	10
常勤換算	0.5	0.5	2	8	11

7 研修の実施状況

1) 施設内研修

研修テーマ	内容	講師	参加職種	延人員
虐待防止研修	虐待の小さな種を摘む	所長	全職員	11

2) 施設外研修

研修名	主催	参加職種	人員
グループホーム従事者研修	手をつなぐ育成会	リーダー	1
強度行動障害援助者研修基礎研修	東京都	リーダー	2
虐待防止研修（管理者対象）	東京都	所長	1

8 行事の実施状況

実施月日	行事名	実施場所	参 加 者			
			利用者	職 員	その他	計
4月11日	BBQ 大会	カーサマリモ	7	7	1	15